

第49回水産庁入札等監視委員会 審議概要

(ホームページ掲載日:令和2年3月5日)

開催日及び場所			令和元年12月16日(月)水産庁外国人応接室		
委員			戸塚 輝夫(公認会計士)(委員長) 宮島 哲也(弁護士) 副島 久実(水産大学校講師)		
審議対象期間			令和元年7月1日～令和元年9月30日		
審議対象案件			56件 うち、1者応札案件8件 契約の相手方が公益社団法人等の案件2件		
抽出案件			8件 うち、1者応札案件3件 (抽出率14. 2%) (抽出率37. 5%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件2件 (抽出率100%)		
抽出案件内訳	工事	一般競争		該当なし	
		指名競争	公募型指名競争	1件 うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件1件	
			工事希望型競争	該当なし	
			その他の指名競争	該当なし	
		随意契約		該当なし	
	業務	一般競争		該当なし	
		指名競争	公募型競争	該当なし	
			簡易公募型競争	該当なし	
			その他の指名競争	該当なし	
		随意契約	公募型プロポーザル	該当なし	
			簡易公募型プロポーザル	該当なし	
			標準型プロポーザル	該当なし	
			その他の随意契約	該当なし	
		物品・役務等	一般競争		4件 うち、1者応札案件3件 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件
	指名競争		該当なし		
	随意契約(企画競争・公募)		2件 うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件2件		
	随意契約(その他)		1件 うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件		
	(特記事項)				
	特になし				

	意見・質問	回答等
委員からの意見・質問、それに対する回答等	1. 令和元年度漁業生産資材供給調達事業	
	・昨年度に参加した業者や他の調査事業を実施している業者等、当該事業は他の業者でも対応可能と思われるが、1者応札となった原因は何か。また、改善策をどう考えているのか。	・1者応札におけるアンケートは5社実施しており、入札に参加しなかった理由としては、専門分野・得意分野ではなく業務内容が異なるという回答が一番多く、残りは人員不足との回答でありました。改善策としては、仕様書の業務内容をより分かりやすく記載するとともに、事業の成果報告書を公表することによって事業内容を広く周知し、多くの事業者が入札できるよう努めます。
	2. 令和元年度マウント礁整備効果検討事業 ・平成21年度以降の実績や同種事案に関する実績が入札参加資格として問われているため、入札者が絞られているのではないのか。 ・A社は予定価格を超過したため、技術点を出していないとのことだが、技術点はどうだったのか。	・入札参加資格に過去の実績を求める事業事業については、なるべく各社が広く入札できるよう工事内容を提案しております。また、流況調査と解析業務を分けて発注するなど、多くの者が入札に参加できるよう工夫しています。 ・仮に予定価格を超過しておらず、技術点に算出したとしても、落札者の点数が高かったという結果となっております。
	3. 令和元年度釣り(遊漁)と漁業の共存及び資源管理の推進に関する政策的検討に係る委託調査事業 ・国内の調査対象地域はどこなのか。 ・調査はどの様に行っていくのか。 ・調査の結果は、どの様に公開されるのか。	・釣り人が多いと思われる太平洋中区(茨城県～静岡県)及び瀬戸内海区を現地調査対象地域として選定しております。また、現地調査とは別に実施するWeb調査については、全国を対象としています。 ・対象地域の漁港や釣り場全てを回るのは限界があるため、釣りが盛んな地域を中心として実施しています。なお、調査地域は有識者による検討会で選定しています。 ・年度末に報告書を取りまとめのち、ホームページで公開するとともに、複数の関係団体に対し情報提供を行う予定です。
	4. 行政情報システム用パーソナルコンピュータのOS更新業務 ・説明会に来ていたもう1者が入札に参加しなかった理由は何か。 ・現状のシステム関係上、単にOSを更新するだけではないので、それに対応できるのがNTTデータカスタマサービス(株)ということだったのか。 ・1者応札の改善方法はどうするのか。 ・2年連続1者応札の場合は、アンケートを取っているとのことだが、1者応札の原因分析にはアンケートが必要なため、今後は1年でも例外なくアンケートを実施し、資料に添付し、改善策を報告していただきたい。 5. 平成30事業年度水産業協同組合現況調査の審査・集計等業務	・初めて参加した業者であり、契約内容が単にOSを更新するだけと思い、説明会に参加したが、本省とのネットワーク環境の設定等が契約内容に含まれていたため参加しなかったと思われます。 ・今回の入札は1者だったが、システムエンジニアさえいれば、どこでも落札できるような仕様書としています。 ・幅広く色々な業者に対して仕様書の内容を周知していきます。 ・了解しました。

	・仕様書の内容は殆ど変わってないとのことだが、平成29年度は4者応札であったところ、平成30年度、平成31年度と2年連続1者応札となった要因は何か。 ・落札価格は基本的に安価な方が良いのは分かるが、安価すぎて業者が疲弊し、最終的には当該業務が続かないことにならないのか。 6. 令和元年度個別プロジェクト評価事業 ・当該事業は、結果として随意契約(企画競争)を採用したことは支持できるが、一般競争や総合評価方式といった価格競争の取り入れた契約方法を引き続き検討して頂きたい。 7. サンリオキャラクター著作権利用契約 ・この契約の効果を計る事業はあるのか。 ・サンリオを採用した理由は何か。 8. 養殖業の事業性評価ガイドライン策定に関する業務 ・当該事業は専門性を有していたため、結果として随意契約(企画競争)を採用したことは理解するが、一般競争や総合評価方式といった価格競争の取り入れた契約方法の可能性もあることから引き続き検討して頂きたい。	・過去の落札結果についてその価格に差があったため、業務コストが見合わないと思われる。判断し辞退したものと思われます。 ・当該業務の内容が集計業務であり、業務を1度行くと、スキルがある程度できて、作業効率が良くなり、その結果ある程度価格を抑えられたと結果と考えています。 ・当該事業は、複数応札が当該事業であるとは想定しなかったほど専門的な分野として判断し、省内プロセスを経て随意契約(企画競争)を採用しましたが、今後は、価格的要素を取り入れた契約方法も検討していきます。 ・直接効果を計るのは経費的にも掛かるため、現時点では困難だと思っています。なお、別途農泊の普及状況を調査しており、当該調査において、ある程度浸透したかが今後分かってくると思います。 ・浜の活性化を図るために、異業種企業との連携を図ることを目的に行った会議において、水産業・漁村の振興等に高い関心・興味を示した業者のうち、キャラクターを扱っているのがサンリオだけだったということが理由です。 ・了解しました。
委員会による意見の具申又は勧告の内容	特になし	
〔これらに対し部局長が講じた措置〕		
事務局：水産庁漁政部漁政課 政策評価班		